

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本トランスティ 枚方倉庫2期工事	階数	地上7F
建設地	大阪府枚方市長尾峠町2824-20他	構造	SRC造
用途地域	準工業・第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	20,331 m ²	作成者	鹿島建設(株) 砂金
建築面積	3,782 m ²	確認日	2015年12月2日
延床面積	14,690 m ²	確認者	鹿島建設(株) 堀江



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 69%

③ 上記+②以外の: 69%

④ 上記+: 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	耐用性	対応性
3.2	2.8	4.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

生物環境	まちなみ	地域性
3.0	4.0	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	4.0	4.0	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.0	3.5	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	地域環境	周辺環境
4.2	2.5	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 既存を活かした倉庫の増築		0
Q1 室内環境 倉庫として必要十分な環境	Q2 サービス性能 倉庫として必要十分な環境	Q3 室外環境(敷地内) 既存の尊重
LR1 エネルギー 倉庫として最低限のエネルギー消費	LR2 資源・マテリアル 倉庫として最低限の資源消費	LR3 敷地外環境 周辺に悪影響をあたえない

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0080

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	日本トランスシティ 枚方倉庫2期工事					
	建設地	大阪府枚方市長尾峠町2824-20他					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		4.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.5
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				